

新宮山彦ぐるーぷ第1930回―2

## 「修復・役行者像」の開眼供養法要並びに慶讃採燈護摩供

◇実施日；平成29年05月17日(水) 曇り時々薄日

◇参加者；

**本山修験宗・聖護院門跡**；宮城泰年(ご門主、中村覚祐執事長、

宮城泰岳庶務部長、草分俊顕庶務主事、横山恵壬  
庶務主事、藤岡秀法教務主事。 6名。

**同行者**；東アジア言語・文化研究のカルフォルニア・サン

タバーバラ大学；ロート・カリーナさん。

**仏師**；奈良市秋篠仏所・浅村朋伸。

**新宮地区**；玉岡憲明・明、川島 功、山上皓一郎、沖崎吉信、

畑林秀味・清子、前田 正、根本俊明、生熊敏男・

千満子、大江加予子・徳子、児嶋道夫、濱野兼吉、

木下嘉彦、松本 良・邦子、赤井熊五郎、加子坂

昌彦。

**熊野・尾鷲地区**；山川治雄、樋口義也、高階美根子、奥村順

夫、竹中卓治、舟瀬 菫。

**大阪・奈良・和歌山地区**；乾 克己、杉本俊也、山口泰宏、

梶野照雄、青木宏充、茂原 仁、平澤 研。

**下北山村**；役場；和田英樹、仲 怜里、阪本 匠、岸 崇将。

浦向区；上平一郎・さち子、下西一也・マミ、田ノ下

弘文、辻ノ内 勇(区長)。

観光案内所(しもまる)；福岡 修、仲 定幸、伊藤昭人、

西岡千草。白谷隋道工事者、他2名。計58人。

行仙宿小屋と行者堂が、平成2年に竣工落慶した際に、玉岡前代表が本山修験宗・聖護院門跡に「役行者像」の寄進をお願いして、京の名仏師・佐川定慶氏による軽微な修復をして、行者堂に安置されました。行者堂は、風雨は凌げるが、冬季は氷点下10℃

以下、夏季は30℃以上になり、梅雨時期は高湿度と厳しい環境下で安置保管のため傷みが激しく、昨年7月お性根抜きをして(熊野修験)奈良市・秋篠仏所の浅村朋伸仏師(園城寺伝統技法教習院で修行)に修復を依頼しました。

思ったより傷みが激しく大修復となり解体したところ「胎内文書・願文」が見つかり、元禄5年(1702年)に造立した役行者像で熊野三山検校宮・三十一世道尊親王が開眼供養されている由緒ある像であることが判りました。

平成の修復に際して、聖護院門跡五十二世宮城泰年大僧正(ご門主様)が「由緒併願文」を揮毫して、胎内に入れられました。

ここに「修復した役行者像」の開眼供養法要並びに慶讃の採燈護摩供は、本山修験宗・聖護院門跡の宮城泰年(ご門主、中村覚祐執事長他4名が出仕して執り行なわれことになりました。

行者堂前に幟が立てられ、紅白の幕が行者堂を囲む様に張られ、梶野氏お手製のベンチが並べられ参列者が着席する。

行者堂内の役行者像の前には、新規に桧板の棚が据付(木下嘉彦・棟梁)られ、その上に紅白の鏡餅と果物が供えられた。

直会の食事弁当は、会友の手製で盛付けが終わり、宿内に60名弱分が配膳され準備が完了した。



折弁当に盛付け



直会の手製折弁当



役行者像のお供え



聖護院門跡ご一行は、9時40分に到着され、法衣に着替えられるご門主様を管理棟にご案内する。

山伏装束に着替えて登って来られた中村執事長、宮城庶務部長等が相談され、お堂前に護摩壇の位置が決められ準備をされる。

参列者に護摩木が配布(50本)され、足り無い方は桧割木に、願文を書いて頂いた。宮城庶務部長から、願いは多く書いても神様は願いを叶えて下さらない等の説明がある。



開眼供養法要前の参列者と護摩壇の準備



聖護院ご門主大導師・導師他入場と着席

準備が整い予定より10分早い10時50分から、法螺の音を合図に整列して入場。最後尾に紫色法衣、朱の結袈裟の大導師の宮城泰年ご門主様が行者堂内の役行者像正面に着席され。ぐるーぶ代表2名が堂内左右に着席した。

法剣の儀が執り行なわれ、大導師の「役行者開眼表白」開眼作法次第に基づき始まる(文末掲載)。法螺の音と共に開眼供養法要の読経が荘厳に響き渡る。約20分後に護摩壇に火が入り白煙が立ち昇る前導師・中村執事長の「祈願文」が読上げられる。



ご門主様による開眼作法次第による読経

祈願文読上げと



祈願文

開眼供養読経中の参列者

護摩壇は、白煙から火焰に変わり、願いの護摩木が護摩壇に各自が「願いが叶いますように！」と投入する。





各自願いの護摩木投入



慶讃の採燈護摩供がはじまり火焔が昇る



堂内のご門主と代表



と大勢だと時間がかかる。  
12時過ぎに司会・沖崎氏の紹介で川島代表が挨拶「遠方京都から行事を割いて、本山修験宗・聖護院門跡による「修復・役行者像」の開眼供養法要と慶讃の採燈護摩供へのご出仕、修復を担当された浅村朋伸仏師並びに標高1030mの行者堂迄約1時間弱登って参列した頂いた方々、そして準備に携われたぐるーぶ会友の皆さんに  
労いと御礼の挨拶をして、司会者の乾杯で開宴。  
紅白餅と聖護院からの八ッ橋「お食べ」を各自に持帰って頂いた。

玉岡前代表挨拶  
佐田ノ辻で参列者の記念撮影をする為に、道標を急遽一時撤去。  
尚、奈良新聞と熊野新聞の取材がある。



「修復・役行者像」の開眼供養法要と慶讃の採燈護摩供が厳かに滞りなく執り行われ、11時35分頃に法要と採燈護摩供が終り、法要後のご門主様のお言葉をお願いしたところ、玉岡前代表から「仏像からきつと功德が頂けるので、此処においての際はお参りを」と挨拶。宮城泰年ご門主様からは、胎内文書の説明があり、役行者像から胎内文書が見つかる事は稀で、道尊親王が開眼供養された尊像に、再び門跡ご門主として係ることが出来ました等のお言葉を頂戴。故に、格式と由緒ある霊験あらたかな「役行者像」であると云う事になります。





参列者の記念撮影



司会者の挨拶



世話人代表挨拶



直会の食事状況及びご門主様と懇談・記念撮影



外人研究者も参席



ご門主様と新旧代表



下山前に記念撮影

13時過ぎに直会が終了し、聖護院一行が行者堂の前で記念撮影後、川島から後片付けをお願いして、同行して13時20分に下山し、14時前に無事登山口に到着。途中、護摩供に使う直ぐ伸びたヒメシヤラ生木をナイフで一本切り持帰られた。茂原、平澤氏が追いつき一緒に下山した。



登山口の急階段を降りられる。

お土産(鈴焼)を渡す。着替えをされ京都へと発たれる車及び浅村仏師の車を見送る。15時過ぎに木下氏が、モノレールで下山して全員が揃い帰路へ。15時頃から下山した車は、落石工事現場でしばらく待ち一斉に通過した。

行仙小屋 役行者開眼表白奉身草

開眼作法次第

- 先 護身法等 前作法
- 次 塗香 (尊像)
- 次 香燭 (用否隨意)
- 次 願我身淨如香爐
- 次 願我心如智慧火
- 次 念念梵燒戒定香
- 次 供養十方三世仏
- 次 洒水
- 右・左目、右・左眉、眉間
- 總体 (各一遍)

次 頌文

- 我今奉持一滴水
- 奉加尊像五種眼
- 唯願以此功德力
- 過去四恩成仏道
- 現在願主除災障
- 広及衆生證菩提
- 次 開眼印明 (仏眼)
- ナモバギヤバト...
- 次 三身印明
- 法身塔印明 (無所不至)
- アバンランカンケン
- 兩頭屈接四指伸接

次 表白

謹敬白ニ法界体性摩訶毘盧舍  
 那一代教主釈迦牟尼如来普  
 賢文殊觀音勢至等諸大菩薩  
 身子目蓮等諸賢聖衆別而当  
 会本尊役行者神變大菩薩金  
 剛藏王大權現大峰峰中七大  
 八大金剛童子等部類眷屬總  
 而尽空法界一切三宝申一  
 將今大峰靈所第十九摩於ニ行  
 仙宿ニ奉レ開ニ眼役行者尊像ニ

省ニ施入尊像平成始仍ニ新宮  
 やまびこぐる一ニ發議一行仙  
 小屋完成役行者像奉ニ納聖護  
 院門跡ニ爾米破損甚秋篠仙師  
 淺村朋伸修ニ復之ニ折柄自ニ胎  
 内ニ現ニ奉毫文書ニ元祿之昔聖  
 護院宮三十一代道尊親王開眼  
 之尊像事明也  
 茲選ニ定本日吉日一願主併協  
 贊者等相集招ニ請聖護院門跡  
 一結大衆一会ノ梵席飾恭供ニ

報身塔印 アピラウンケン

- 頭開中屈接他伸接
- 次 応身塔印 アラハシヤナ
- 大小伸接頭中開無名内縛
- 次 大日印明 (内五結)
- 無明内縛頭開他接
- 次 本尊印明 不動根本印
- 次 開眼之儀
- 所修皆辨 内証外用
- 五智三身 功德威力
- 悉皆成就 皆令満足

次 神分

- 開眼供養場善願成就砌為下
- 餐ニ受法味一証明ニ功德上上天
- 下界神祇妙衆來臨影向玉然則
- 奉レ始ニ天照皇太神ニ修驗擁護
- 熊野十二社子守勝手宮金精明
- 神大峰満山護法善神併而為ニ
- 法楽莊嚴威光倍增一
- 一切神分般若心經 丁
- 大般若經名 丁
- 次 对馬三礼・如来唄

餅果茶菓奠ニ開眼供養報恩謝  
 徳微衷致處也 仍探知法護摩供

伏惟役行者金峰熊野葛城ニ山  
 岳抖擻道場ヲ開ニ修驗道礎定  
 光格天皇下レ勅神變大菩薩賜ニ  
 諡号ニ時遷利生連綿今大峰結  
 縁單役行者恩徳非レ承者無  
 冀高祖大士給レ鎮ニ護此処ニ修  
 驗興隆守ニ護典駢行者ニ行仙宿  
 小屋安泰願主新宮やまびこぐ

る一ニ善願者一同令レ護ニ持  
 心願成就一給  
 更本日参会一同息災長久地  
 元發展家内安全人心安穩庶  
 人康寧ヲ祈誓ニ奉  
 乃至法界平等利益 二丁

開眼供養法要の御祝とお供物 (敬称略)

- ・ 大川酒店(大川和子)；壹拾万円。
- ・ 聖護院門跡、医療法人「やまびこ会」；各五万円。
- ・ 大江加予子・徳子；三万八千円。
- ・ 熊野修験(高木亮英)、川島 功；各三万円
- ・ 三井寺、天台寺門宗；各二万円。
- ・ 山上皓一郎、生熊敏男、沖崎吉信、畑林秀味、乾 克己、  
松本 良、椎木 堯十、今野孝祐、奥村十竹中十高階十舟瀬、  
上平一郎、勝平芳明、浦向区。各一万円。
- ・ 下北山村・しもまる案内所；五千元。
- ・ 辻之内 勇(浦向)；三千元。

計四十五万六千元。

- ・ 医療法人「やまびこ会」；缶ビール4箱。
- ・ 聖護院門跡；八ッ橋「お食べ」50パック。
- ・ 秋篠仏所・浅村朋伸；清酒二本。
- ・ 畑地製菓店；清酒一本。
- ・ 下北山村・しもまる案内所；菓子一箱。
- ・ 畑林秀味；マグロ十六kg。

御祝及びお供物等を寄贈して頂いた方々に、衷心より御礼を申し上げます。

(記 川島 写真；川島・梶野・玉岡)